

近世民家の集成（5）

近世プロジェクトチーム

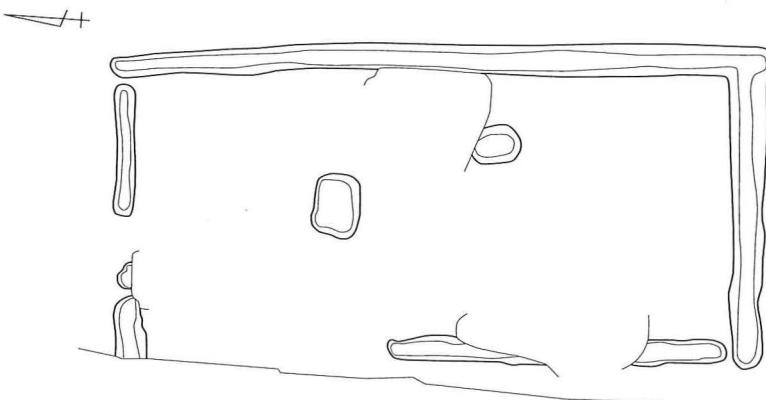
はじめに

県内の近世民家の集成の第5回目である。本プロジェクトでは、昨年度までに横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、小田原市、相模原市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、大和市の集成を行い117棟分のデータを蓄積してきた。今年度は津久井町、愛川町の集成を行い30棟分を追加した。

凡例

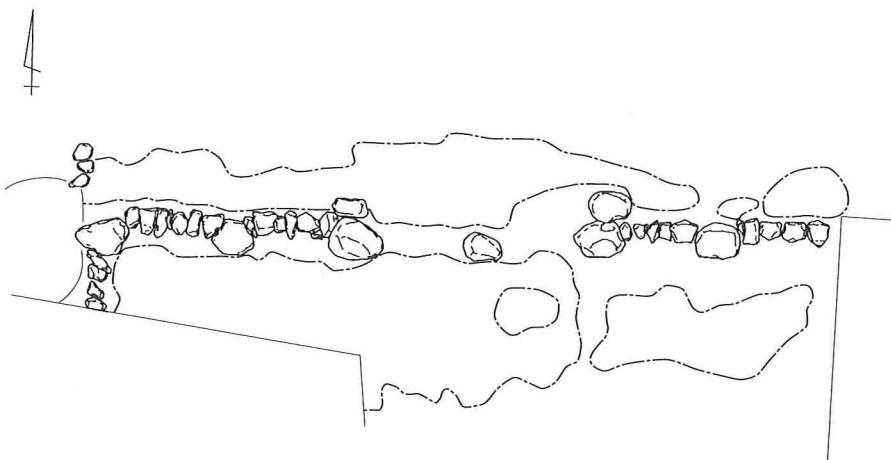
- ・資料No.は近世民家の集成(1)からの続き番号である。
- ・遺構名は報告書の記載に基づく。
- ・建物の縮尺は1/100とし、スケールを省略したが、規模の大きいものについては適宜縮尺を変え、図面ごとにスケールを示した。
- ・代官守屋左太夫陣屋跡1号礎石建物址については、表に収まるよう縮小すると縦根石部分が見づらくなるため1ページで掲載した。
- ・梁間、桁行の間数は単に柱穴の数ではなく、柱間距離から概略割り出した1間の梁間及び桁行寸法で換算した数値を示している。
- ・坪数は梁間×桁行の面積を、現行の一坪3.3m²で除したものである。
- ・建物の機能・構築時期については、報告書の記載に準じているが、母屋と付属建物の別が明確なもの、出土遺物から時期が推定できるものについては記載した。

資料No.	118	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	1号土蔵跡		構築場所	斜面地を掘削・盛土することで造り出された平坦面						
規模	梁間	7.7 m	桁数	16.5 m	×	間	面積	127.1 m ²	坪数	38.5 坪
柱穴の形状		柱間距離	梁	m	桁	m	主軸方位		N - 3° - W	
出土遺物	陶磁器			付属施設						
建物の機能	酒造に関連する蔵			構築時期	19世紀後半					
備考	布基礎部分は礫と土が交互に突き固められている、南側約4mに1号礎石建物跡あり									

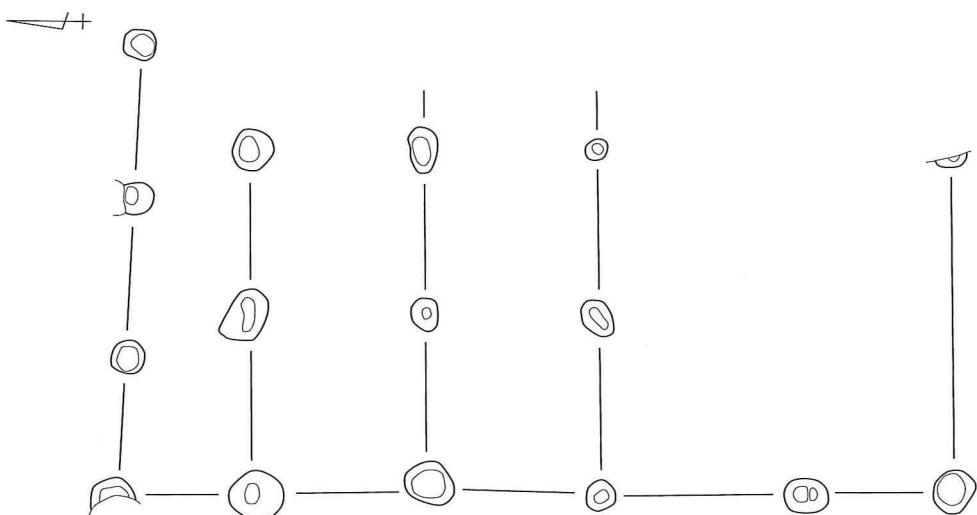


[S : 1/200]

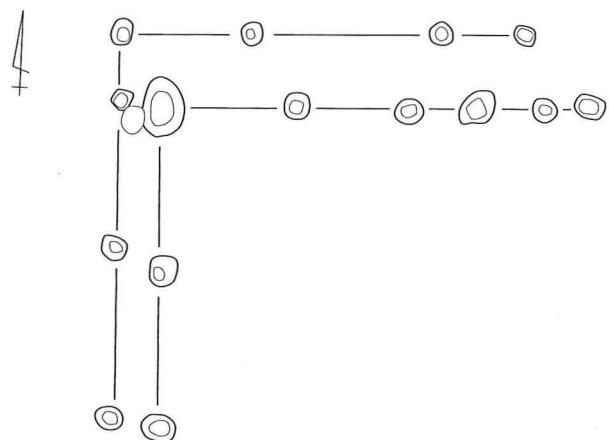
資料No.	119	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	1号礎石建物跡		構築場所	斜面地を掘削・盛土することで造り出された平坦面						
規模	梁間	7.2 m	桁数	0.8 m	×	間	面積	m ²	坪数	坪
柱穴の形状		柱間距離	梁		m	桁		m	主軸方位	N - 3° - W
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期	19世紀後半				
備考	石の間隔のあいている箇所は出入り口部分か、北側約4mに1号土蔵跡あり									



資料No.	120	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本				
遺構名	1号堀立柱建物跡(A)		構築場所	整地層下の削平面								
規模	梁間	6.0~ m	桁数	11~ m	2~	×	4~ 間	面積	m ²	坪数		
柱穴の形状	不整円形	柱間距離	梁	1.8~2.1 m	桁	1.8~2.8 m	主軸方位	N - 2° - W				
出土遺物	角釘				付属施設	北側に庇						
建物の機能					構築時期	17世紀もしくはそれ以前						
備考												

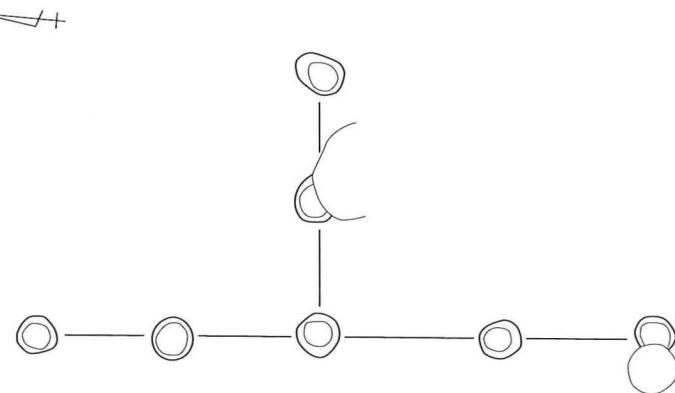


資料No.	121	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	1号掘立柱建物跡(B)			構築場所	整地層下の削平面					
規模	梁間	4.2~ m	桁数	5.7~ m	2~ × 3~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	2.0・2.2 m	桁	1.5~1.8 m	主軸方位	N - 2° - W		
出土遺物					付属施設	北及び西側に庇				
建物の機能					構築時期	17世紀もしくはそれ以前				
備考	1号掘立柱建物跡(A)建替え									

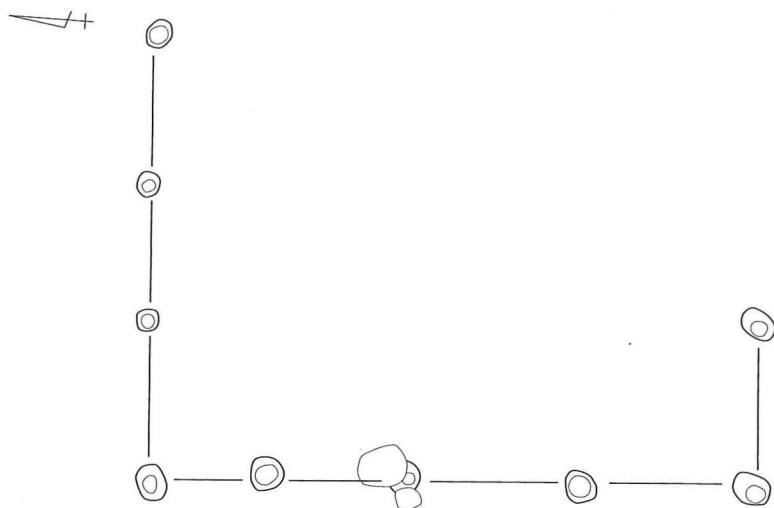


◎

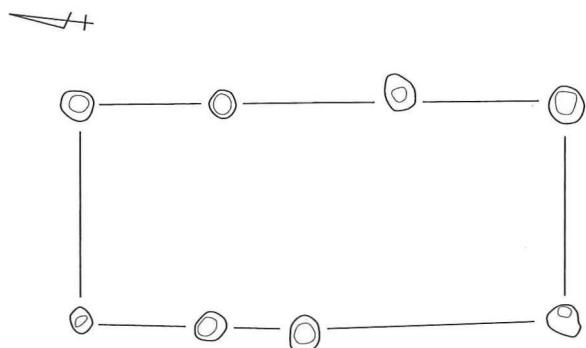
資料No.	122	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	2号掘立柱建物跡(A)			構築場所	整地層下の削平面					
規模	梁間	5.9~ m	桁数	8.0~ m	2~ × 3~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.8~2.1 m	桁	1.6~2.3 m	主軸方位	N - 3° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期	17世紀もしくはそれ以前				
備考	3号掘立柱建物跡と重複するが、新旧不明									



資料No.	123	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本				
遺構名	2号掘立柱建物跡(B)		構築場所	整地層下の削平面								
規模	梁間	3.2~	m	桁数	8.2~	m	3~ × 4~	間	面積	m ²		
柱穴の形状	円形	柱間距離		梁	1.7・1.75	m	桁	1.8~2.4	m	主軸方位		
出土遺物					付属施設							
建物の機能					構築時期	17世紀もしくはそれ以前						
備考	2号掘立柱建物跡(A)建替え、3号掘立柱建物跡と重複するが新旧不明											

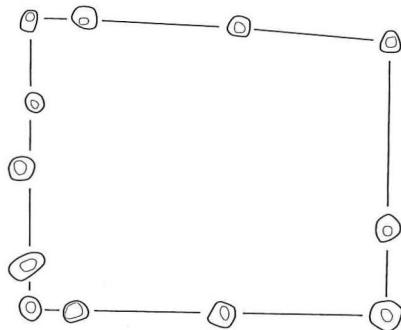


資料No.	124	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本				
遺構名	3号掘立柱建物跡		構築場所	整地層下の削平面								
規模	梁間	2.9	m	桁数	6.4	m	1 × 3	間	面積	18.6 m ²		
柱穴の形状	円形	柱間距離		梁	2.8・2.9	m	桁	1.3~3.4	m	主軸方位		
出土遺物	瓦				付属施設							
建物の機能					構築時期	17世紀もしくはそれ以前						
備考	2号掘立柱建物跡と重複するが新旧不明											



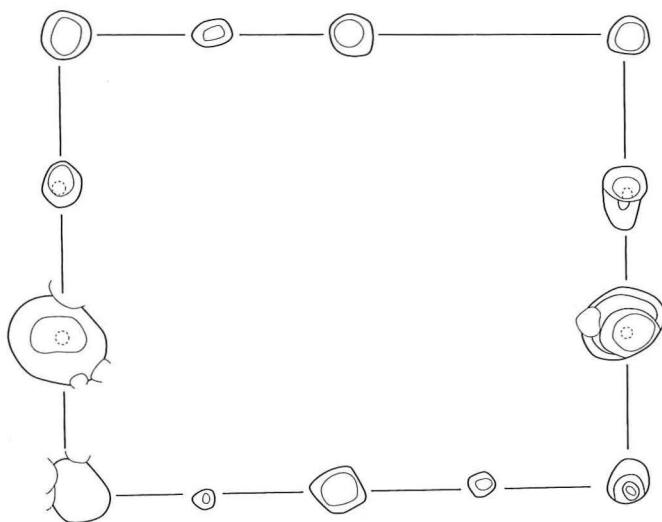
資料No.	125	遺跡名	根小屋根本				所在地	津久井町根小屋字根本	
遺構名	4号掘立柱建物跡		構築場所	整地層下の削平面					
規模	梁間	3.8 m	桁数	4.8 m	2 × 4 間	面積	18.2 m ²	坪数	5.6 坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.1~2.5 m	桁	1.95~2.15 m	主軸方位	N - 10° - W	
出土遺物				付属施設	17世紀もしくはそれ以前				
建物の機能				構築時期					
備考									

++

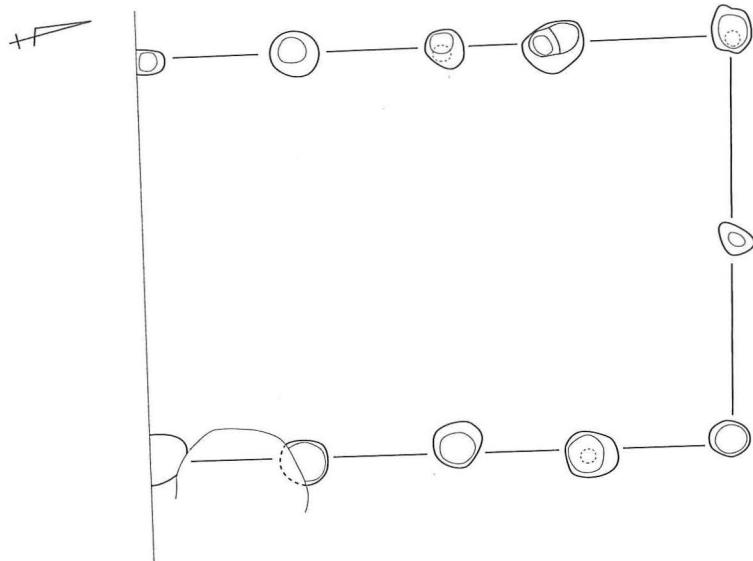


資料No.	126	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡				所在地	津久井町根小屋字根本	
遺構名	1号掘立柱建物跡		構築場所	斜面地を削平・盛土することによって造り出された平坦地					
規模	梁間	7.5 m	桁数	8.0 m	3 × 4 間	面積	60 m ²	坪数	18.2 坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.86~2.1 m	桁	1.7~1.98 m	主軸方位	N - 80° - W	
出土遺物	陶器、かわらけ、瓦			付属施設					
建物の機能				構築時期	17世紀前半				
備考									

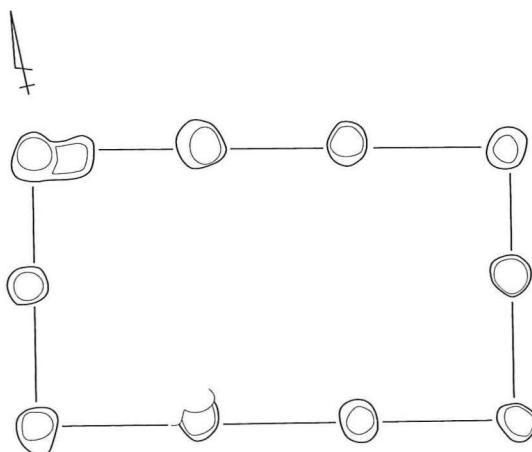
++



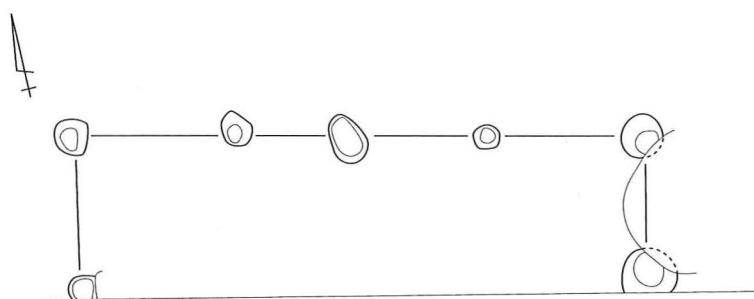
資料No.	127	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	2号掘立柱建物址		構築場所	斜面地を削平・盛土することによって造り出された平坦地						
規模	梁間	5.3 m	桁数	7.8~ m	2 × 4~ 間	面積	m ²	坪数	坪	坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	2.65 m	桁	1.55~2.35 m	主軸方位	N - 14° - E		
出土遺物	陶磁器、かわらけ、瓦、銭貨				付属施設					
建物の機能					構築時期	17世紀前半				
備考	3・4号掘立柱建物跡と重複、4号より古い									



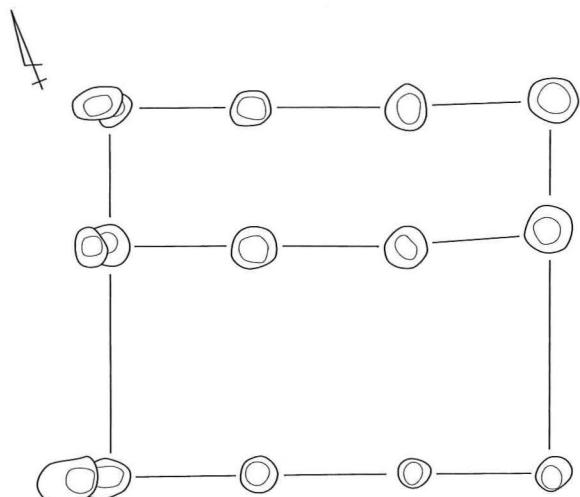
資料No.	128	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	3号掘立柱建物址		構築場所	斜面地を削平・盛土することによって造り出された平坦地						
規模	梁間	3.6 m	桁数	6.3 m	2 × 3 間	面積	22.7 m ²	坪数	6.9 坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.7~1.9 m	桁	1.85~2.3 m	主軸方位	N - 79° - W		
出土遺物	陶磁器、かわらけ、銭貨				付属施設					
建物の機能					構築時期	17世紀前半				
備考	2号掘立柱建物跡と重複するが新旧不明									



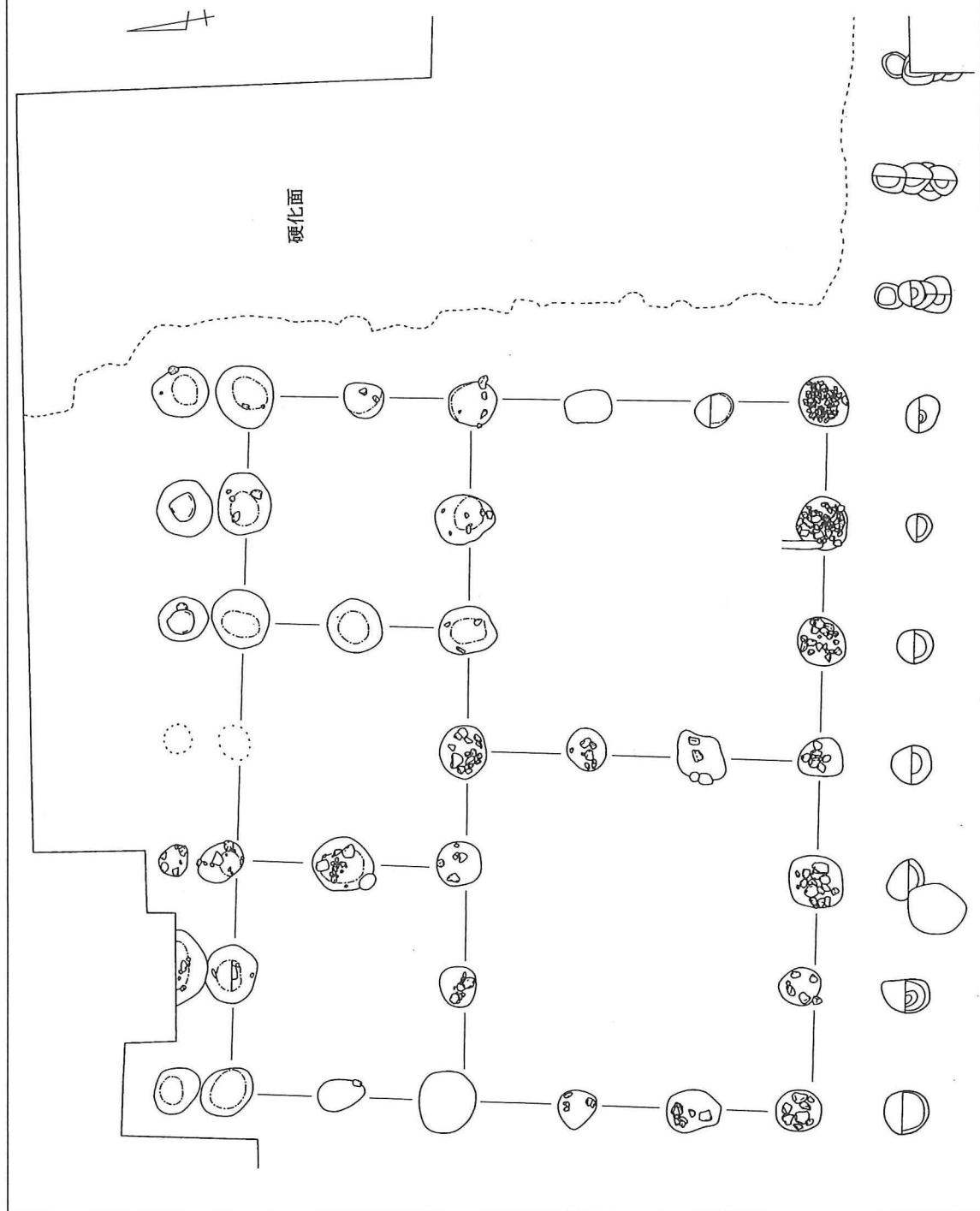
資料No.	129	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	4号掘立柱建物址		構築場所	斜面地を削平・盛土することによって造り出された平坦地						
規模	梁間	2.0~ m	桁数	7.56 m	1~ × 4 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	18·2.0 m	桁	1.5~2.1 m	主軸方位	N - 77° - W		
出土遺物	陶器、銭貨			付属施設						
建物の機能					構築時期	17世紀前半				
備考										



資料No.	130	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡				所在地	津久井町根小屋字根本		
遺構名	5号掘立柱建物址		構築場所	斜面地を削平・盛土することによって造り出された平坦地						
規模	梁間	5.0 m	桁数	5.86 m	2 × 3 間	面積	29.3 m ²	坪数	8.9 坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.72~3.26 m	桁	1.8~2.04 m	主軸方位	N - 68° - W		
出土遺物	陶器、かわらけ、瓦			付属施設						
建物の機能					構築時期	17世紀前半				
備考										

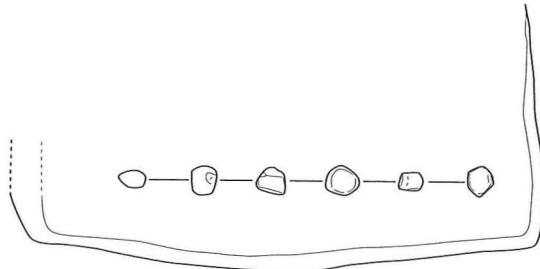


資料No.	131	遺跡名	代官守屋左太夫陣屋跡	所在地	津久井町根小屋字根本			
遺構名	1号礎石建物跡							
規 模	梁間	9.2 m	桁数	11.5 m	5 × 6 間			
柱穴の形状		柱間距離	梁	1.8 m	桁	1.8~2.0 m	主軸方位	N - 79° - W
出土遺物	陶器、かわらけ、瓦、錢貨、鎧部品	付属施設	北側及び南側に庇					
建物の機能	代官陣屋または屋敷？	構築時期						
備 考	礎石は40cmほどの河原石、3間×3間が2部屋、2間×2間が3部屋、17世紀中頃廃絶							

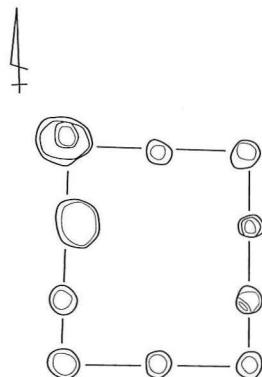


資料No.	132	遺跡名	津久井城跡				所在地	津久井町根小屋字城坂		
遺構名	1号礎石建物跡		構築場所		整地層上					
規模	梁間	3.3~ m	桁数	7	m	1~ × 5 間	面積	m ²	坪数	坪
柱穴の形状		柱間距離	梁		m	桁	0.8~1.0 m	主軸方位	N - 3° - E	
出土遺物	釘			付属施設						
建物の機能	母屋			構築時期		16世紀末~17世紀前半				
備考	方形の掘り込みと礎石列からなる、礎石間の距離は0.9m前後、1号掘立柱建物跡との関連が予想される									

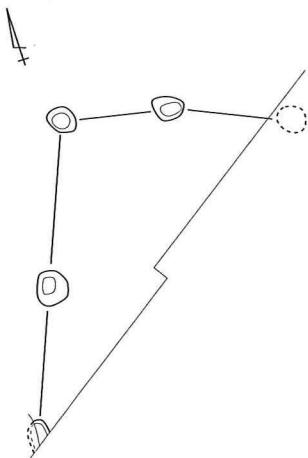
+/-



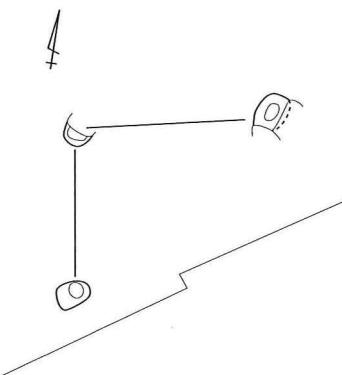
資料No.	133	遺跡名	津久井城跡				所在地	津久井町根小屋字城坂		
遺構名	1号掘立柱建物址		構築場所		整地層上					
規模	梁間	2.45 m	桁数	2.9	m	2 × 3 間	面積	7.1 m ²	坪数	2.2 坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.15 · 1.2	m	桁	0.85~1.1 m	主軸方位	N - 1° - E	
出土遺物				付属施設						
建物の機能				構築時期		16世紀末~17世紀前半				
備考	1号礎石建物跡との関連が予想される、柱間距離より特殊な建物の可能性が指摘されている									



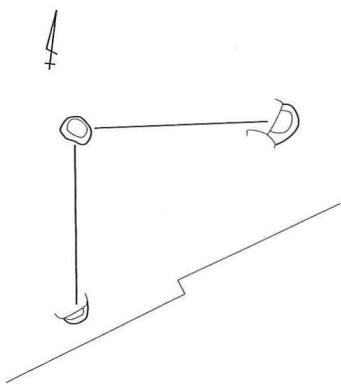
資料No.	134	遺跡名	青根馬渡No. 2				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K 1号掘立柱建物址				構築場所	段丘緩斜面				
規模	梁間	1.5~ m	桁数	2.2~ m	2~ × 2~ 間	面積		m ²	坪数	坪 坪
柱穴の形状	不整形		柱間距離	梁	1.5 m	桁	2.0 · 2.2 m	主軸方位	N - 24° - E	
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考	K 2・3号掘立柱建物址と重複している									



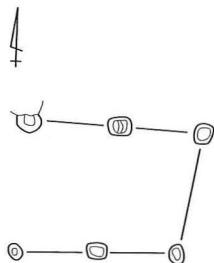
資料No.	135	遺跡名	青根馬渡No. 2				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K 2号掘立柱建物址				構築場所	段丘緩斜面				
規模	梁間	2.1~ m	桁数	2.6~ m	2~ × 2~ 間	面積		m ²	坪数	坪
柱穴の形状	方形		柱間距離	梁	2.1 m	桁	2.6 m	主軸方位	N - 10° - W	
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考	K 1・3号掘立柱建物址と重複している									



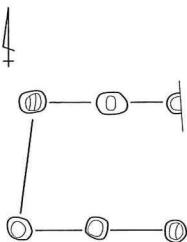
資料No.	136	遺跡名	青根馬渡No. 2				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K 3号掘立柱建物址 構築場所 段丘緩斜面									
規模	梁間	2.4~ m	桁数	2.7~ m	2~ × 2~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	方形	柱間距離	梁	2.4 m m	桁	2.7 m m	主軸方位	N - 10° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考	K 1・2号掘立柱建物址と重複している									



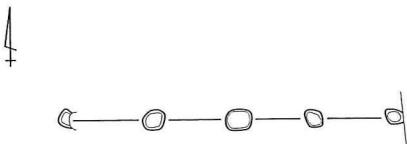
資料No.	137	遺跡名	青根馬渡No. 4				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K 1号掘立柱建物址 構築場所 段丘緩斜面									
規模	梁間	1.75 m	桁数	2.3~ m	1 × 2~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.75 m m	桁	1.05~1.2 m	主軸方位	N - 90° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考										



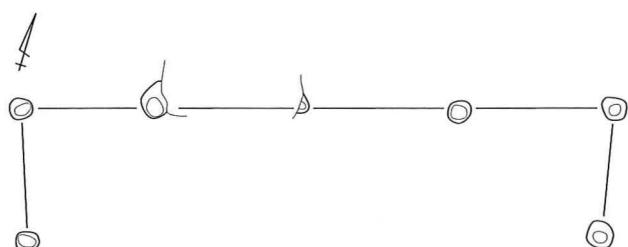
資料No.	138	遺跡名	青根馬渡No.4				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K2号掘立柱建物址 構築場所				段丘緩斜面					
規模	梁間	1.7 m	桁数	2.3~ m	1	×	2~ 間	面積	m ²	坪数
柱穴の形状	方形	柱間距離	梁	1.7 m	m	桁	0.9~1.05 m	主軸方位	N - 90° - W	
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考										



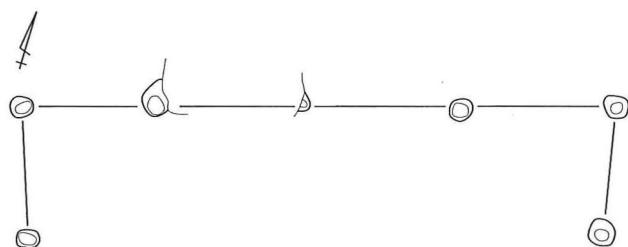
資料No.	139	遺跡名	青根馬渡No.4				所在地	津久井町大字青根字馬渡		
遺構名	K3号掘立柱建物址 構築場所				段丘緩斜面					
規模	梁間	m	桁数	m	×	4~ 間	面積	m ²	坪数	坪
柱穴の形状	方形	柱間距離	梁	m	桁	1.05~1.1 m	主軸方位	N - 90° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考										



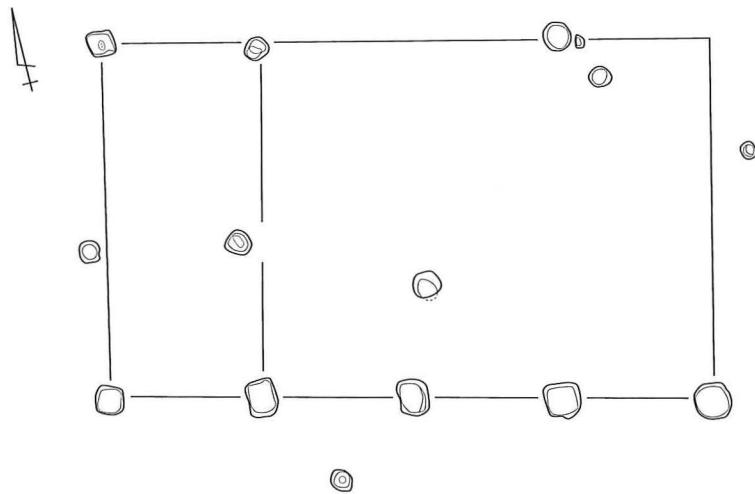
資料No.	140	遺跡名	青根引山				所在地	津久井町大字青根字上野		
遺構名	K1号掘立柱建物址				構築場所	段丘平坦部				
規模	梁間	1.1~	m	桁数	7.8	m	1~	×	4	間
柱穴の形状	円形			柱間距離	梁	1.1	m	桁	1.9~2.0	m
出土遺物				付属施設						
建物の機能				構築時期						
備考										



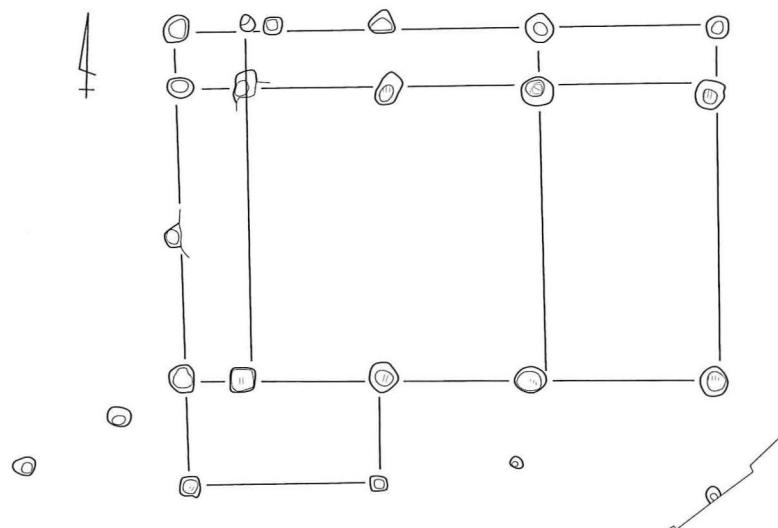
資料No.	141	遺跡名	青根引山				所在地	津久井町大字青根字上野		
遺構名	K2号掘立柱建物址				構築場所	段丘平坦部				
規模	梁間	1.1~	m	桁数	7.8	m	1~	×	4	間
柱穴の形状	不整円形			柱間距離	梁	1.75	m	桁	1.75~2.1	m
出土遺物				付属施設						
建物の機能				構築時期						
備考										



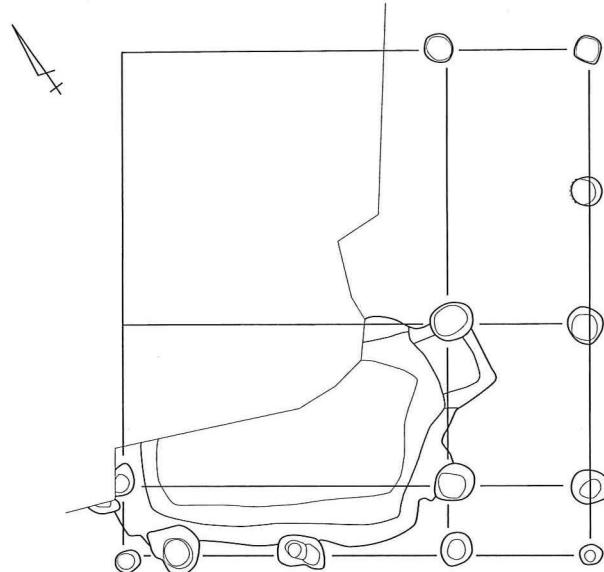
資料No.	142	遺跡名	大地開戸	所在地	津久井町大字青野原字大地開戸
遺構名	K1号掘立柱建物址	構築場所	河岸段丘緩斜面		
規模	梁間 4.7 m	桁数 8 m	2 × 4 間	面積 37.6 m ²	坪数 11.4 坪
柱穴の形状	方形	柱間距離 梁 2.0・2.7 m	桁 2.0 m	主軸方位 N - 81° - W	
出土遺物		付属施設			
建物の機能		構築時期			
備考					



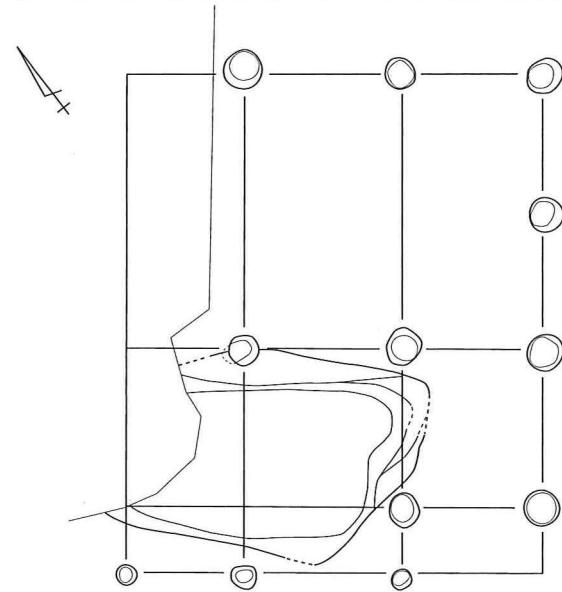
資料No.	143	遺跡名	大地開戸	所在地	津久井町大字青野原字大地開戸
遺構名	K2号掘立柱建物址	構築場所	河岸段丘緩斜面		
規模	梁間 3.9 m	桁数 6.3 m	2 × 3 間	面積 24.6 m ²	坪数 7.4 坪
柱穴の形状	方形・円形	柱間距離 梁 1.9・2.0 m	桁 1.9~2.5 m	主軸方位 N - 88° - E	
出土遺物		付属施設	北側及び西側に廂有り		
建物の機能		構築時期			
備考					



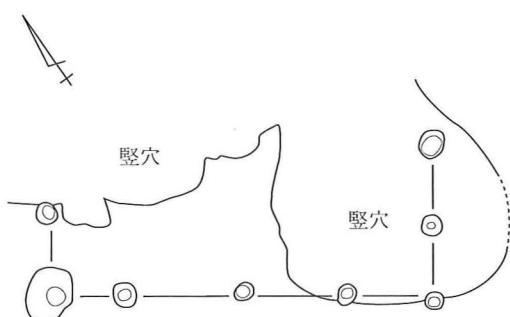
資料No.	144	遺跡名	半原向原				所在地	愛川町半原字向原	
遺構名	K1号掘立柱建物址				構築場所	段切りにより造成された地業面			
規模	梁間	6.15 m	桁数	6.65 m	3 × 3.5 間	面積	40.9 m ²	坪数	12.4 坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.55~2.1 m	桁	1.75~2.15 m	主軸方位	N - 35° - E	
出土遺物					付属施設	竪穴状遺構			
建物の機能	ウマヤ				構築時期				
備考	K2号掘立柱建物址の建て替え、土間状で固く踏み固められた掘り込みや間仕切を有する								



資料No.	145	遺跡名	半原向原				所在地	愛川町半原字向原	
遺構名	K2号掘立柱建物址				構築場所	段切りにより造成された地業面			
規模	梁間	6.15 m	桁数	6.65 m	3 × 3.5 間	面積	36.3 m ²	坪数	11 坪
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.55~2.1 m	桁	1.8~2.05 m	主軸方位	N - 39° - E	
出土遺物					付属施設	竪穴状遺構			
建物の機能	ウマヤ				構築時期				
備考	土間状で固く踏み固められた掘り込みや間仕切を有する								



資料No.	146	遺跡名	半原向原				所在地	愛川町半原字向原		
遺構名	K3号掘立柱建物址				構築場所	段切りにより造成された地業面				
規模	梁間	2.05~ m	桁数	5.1 m	2~ × 4 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	1.0・1.05 m	桁	0.9~1.65 m	主軸方位	N - 53° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考										



資料No.	147	遺跡名	半原向原				所在地	愛川町半原字向原		
遺構名	K4号掘立柱建物址				構築場所	段切りにより造成された地業面				
規模	梁間	2.05 m	桁数	2.15~ m	1 × 2~ 間	面積	m ²	坪数	坪	
柱穴の形状	円形	柱間距離	梁	2.05 m	桁	0.7~1.35 m	主軸方位	N - 51° - W		
出土遺物					付属施設					
建物の機能					構築時期					
備考										

